

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	対象地域における公共図書館の児童サービスが改善される
(2) 事業内容	(ア) ピー県公共図書館(6館)の児童サービスの改善及び移動図書館活動 8月に図書館専門家を招聘し図書館員向け児童サービスに関する5日間の研修会を実施した。参加者は図書館員(アシスタント含む)8人、郡情報文化局職員7人、ピー小学校教員3名の計18名。当初計画では教員参加は入っていなかったが、一部の文化局職員が参加不可、図書館員アシスタント異動などから参加者数の変更が生じ、また一方で小学校と公共図書館の連携強化を図りたいとの要望を受け、教員参加となった。 研修内容は理論から実践まで15セッション(児童サービスとは、児童向け本の選び方、お話しの世界について、絵本の読み聞かせの仕方など)から構成された。 研修終了後から児童スペース設置のための調整に取り掛かったが、各郡での本棚、椅子、机など家具製作にかなりの時間を要することとなり、当初は9月下旬の完成を想定していたが、11月下旬から12月初めの完成となった。そして12月中旬に各図書館で児童スペース設置が完了した。家具製作に予想以上に時間を要した理由としては、最終的にピー郡で一括ではなく各郡にて地元の業者を活用して製作を行ってもらったが、業者により理解が異なりデザインに違いが生じたりしたため、やり直しや追加家具の発注を行わなければならなかったからである。しかしながら研修会終了後には、各図書館にて読み聞かせプログラムを開始、児童スペース設置に向け子どもたちに児童サービス活動に触れ馴染んでもらう期間となり、開設後には、それまでプログラムに参加していた子どもたちが通ってくる状況が作れた。 2014年12月と2015年1月に図書館合同会議を開催した。児童スペース設置スケジュールが遅れたことから予定していた10月の会議を12月に変更し、研修会終了後からの読み聞かせプログラム実施、成果や課題、児童スペース設置後の利用状況などを全体で共有した。1月の会議においては12月下旬に情報省よりPCの使い方研修が行われたことからコンピューターを供与、児童利用者記録フォームの作成と一緒に、児童スペース設置後から記録しておいたデータをフォームに入れ実践の場ともなった。 移動図書館用バイクに関しては、2014年9月以降、バイク選び、本棚の材料選びからデザイン製作等に関する話し合いを関係業者と行っていた。初めての試みということもあり試作品を作りながらの確認作業が必要となり、完成までに時間を要することとなった。1月中旬に本棚が完成、現在、最終段階のカバーに絵を入れる作業を行っている。 (イ) 児童図書の制作 絵本コンクール作品の受付を9月末で締切り、10月に選考会議を行った結果、3タイトルの作品が入賞した。その後、情報省出版公社による

	編集作業が開始した。児童図書作家、イラストレーター、編集者の能力向上のための児童図書出版研修会の準備調整を専門家との間で開始、カウンターパートであるミャンマー作家協会とも参加者選考等の調整を行ってきた。
(3) 達成された効果	(1) 公共図書館の児童サービスが改善されている 【達成度】 児童スペース設置に際し、国内購入 350 冊の児童図書がピー県 6 公共図書館にそれぞれ配架された。また 6 館の図書館員全員が図書館研修会に参加し、児童サービス活動の知識・技能を身に着け、その後、各図書館にて読み聞かせ活動を中心とした基本的な児童サービスを実践してきており、これまで全く行われていなかった児童向け活動が本格的に開始した。図書館研修会終了後に各図書館にて月 2 回の「お話し会」が行われ、平均 20 人前後の児童たちが参加した。また児童スペース設置後の利用者については、各図書館一日平均 10 名の児童が利用している。図書館員の報告によるとこれまで一度も図書館に来たことない児童が 3～4 割近くも含まれており、児童スペース設置の効果が出ている。 (2) 児童図書の作家、イラストレーター、編集者への能力強化が行われる 【達成度】 児童図書出版研修が実施されていないため、達成度については未記載。 (3) ミャンマー翻訳協会との共催で翻訳コンクールを行い、ビルマ語の教育図書が出版される 【達成度】 翻訳コンクールが実施されていないため、達成度については未記載。
(4) 今後の見通し	・1 月中には移動図書館用バイクが完成のため、2 月から各図書館における移動図書館サービスを開始する。それに伴い、対象村の見直し、また 6 ヶ月間の実施スケジュールを図書館にて作成し円滑にサービスが行えるようにする。 ・2 月に日本から専門家を招聘し、児童図書出版研修会をミャンマー作家協会と共に実施する。 ・情報省出版公社との協働の下、教育図書出版を行う。 ・ピー県 6 郡図書館の児童サービス改善に向けた指導を引続き行っていく。